

シグマ研究委員会 崩壊熱評価 W.G.サブ・グループ 会合議事録

日 時 昭和 53 年 6 月 1 日 13:30 ~ 17:30
場 所 原研 東海研究所
出席者 松本(原研), 飯島(NAIG), 中嶋(法大)
議 題

1. FPワーキング・グループの作業まとめについて

レベル・スキームの比較とレベル密度に関する結果を JAERI-M レポートにすることを了承した。

川合氏のレベル密度に関する計算については、若干の問題点があるので、6月2日にあらためて川合氏と議論する。

2. IAEAのFPニュース・レターについて

この件については、時間的に相談する余裕がなかったので、中嶋が書いてIAEAに送った。

3. ベータおよびガンマのエネルギー平均の計算機プログラムについて

東北大の山本氏が6月5日以降に原研に来る予定なので、山本氏と打合わせる必要のある事について議論した。主な問題点は：

- i) 感度解析のために必要な実験誤差の取扱い
- ii) format の決定
- iii) 次の4.に示すような isomer 崩壊に対する処理の問題

4. ^{90}Rb 崩壊について

この場合には、半減期が同じ程度の isomer があってベータ崩壊もする。したがって、ガンマ線の測定は ground state と isomer とを区別するのが困難である。

議論の結果、ガンマ線を ground state 崩壊が isomer 崩壊かに分けることは、ある程度可能であるとしても、強度については全然分離不可能である。崩壊熱計算の場合に、これを処理する方法について議論した。

5. 次回サブ・グループ会合

6月下旬か7月上旬に、プログラムと収集における4のような問題点について再度議論する。